

第268回 番組審議会

1. 日 時 平成30年1月9日（火）12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 7名（欠席委員数 1名）

○ 出席委員（敬称略）

砂子田 智（副委員長）

—以下50音順—

石田 征広

加藤 裕一

久慈 浩介

菅原 正二

八木橋 伸之

役重 真喜子

○ 会社側出席者（8名）

藤澤 利憲（代表取締役社長）

小原 忍（取締役副社長）

藤原 銀司（常務取締役）

前田 秀男（取締役技術局長）

工藤 浩（取締役東京支社長）

高嶋 昇（取締役営業編成局長）

梨木 祐亮（編成業務部長）

太田 秀樹（報道部専任部長）

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 ①平成30年めんこいテレビの番組・業務全般について
②テレビ全体、めんこいテレビに期待すること

5. 議事概要

今回は、冒頭で藤澤利憲社長と砂子田智副委員長から年頭に際し挨拶があり、その後、会社から「平成30年めんこいテレビの番組・業務全般について」説明をし、委員の皆様から「テレビ全体、めんこいテレビに期待すること」と題して意見を出して頂いた。議事の概要は、以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ代表取締役社長 藤澤利憲からの挨拶

・我々放送事業者は、いち早く正確な情報を届けること、良質な番組を届けることが使命だと思っている。委員の皆様から忌憚のないご意見を頂き番組制作に、そして視聴者の信頼に繋がっていきたいと思っている。

●砂子田智副委員長からの挨拶

・我々が子どもの頃と今とでは、明らかにテレビの役割が変わってきている。その時代の流れが、変化がある時だからこそ審議委員がそれぞれの立場、あるいは、感性でいろいろ話をすることがとても大事だと思っている。そしてそれをめんこいテレビの役に立ててもらえるとありがたい。

●岩手めんこいテレビ編成業務部長 梨木祐亮からの説明

・昨年の視聴率は、全日7.3%で昨年より0.1%上昇した。個人視聴率では冠を6個取っており世帯視聴率より良い結果が出ている。

・3月までの単発自社制作番組は、『映画監督大友啓史と旅する新渡戸稲造の青春～ドイツ留学と武士道～』『めんこいILCキャンペーン特番 未来はどう変わる?～ILCとつくる「みんなの未来」を知ろう～Episode4』が予定されている。ネット番組では、日曜午後7時から『ジャンクスポーツ』、月曜日午後10時から『世界の村のどエライさん』を編成し2020年の東京オリンピックに向けて世界で活躍する日本人を応援していく。4月以降の自社制作番組では、視聴率の向上を目標に『山・海・漬』は、更なるブラッシュアップを行い、『8っぴーサタデー』は情報の鮮度を大切に視聴者に直接届くような番組作

りを目指す。

●岩手めんこいテレビ報道部専任部長 太田秀樹からの説明

・昨年は、早い時期から台風が襲来するなどしたため朝帯から通勤通学者向けに災害時のL字対応などを増やした。また、震災6年の3.11特番を仙台放送、福島テレビの3局ネットで放送した。新渡戸稲造特番や盛岡文士劇東京公演のドキュメンタリー番組なども放送した。

・伝えるべきニュース、視聴者が伝えてほしいニュースをバランスよく、より分かり易く、正確、適確、迅速にやっていきたいと思っている。2月には平昌オリンピックがありスキージャンプの小林潤志郎選手、陵有選手の兄弟、スノーボードでは岩渕麗楽選手など期待選手が多数いるので随時伝えていく予定。大谷翔平選手は、メジャーリーグでの活動になるが権利や料金的なものも含め現在調整中。ILC誘致も今年が正念場だと思っている。災害事件報道は臨機応変に対応し、少子高齢化、人口減少対策なども重要な課題だと考えている。

●出席した委員からの意見

・大谷翔平選手のメジャーリーグ行きは、すごい注目度。彼の活躍している姿を是非紹介してほしい。

・めんこいテレビは、ILCについて詳しく、分かりやすい番組を作って放送していた。そういう番組も期待している。

・テレビは、やっぱり面白い。つまらないという人は、見方がつまらないのであって良く見ると結構面白い。

・視聴率にあまりピリピリしない方がいい。それに一喜一憂していてつまらない方向になだれ込む可能性がある。自信を持って「わが社は、こう行くよ」とどーんと行くのもいいんじゃないか。

・岩手の子どもたちのために、郷土に眠っているお宝の発掘を何回かシリーズでやって頂きたい。例えば新渡戸稲造、御所野遺跡、盛岡市内に残っている仏像、煉瓦造りの建物、一番古い酒蔵など。子どもはテレビだと一生懸命見ているので、映像で見せることは子どもには大きいのかなという気がしている。

・クライミングの伊藤ふたば選手やスキージャンプの小林潤志郎、陵有選手兄弟などオリンピックに向けて岩手の若い人材を紹介してほしい。

・『逃走中～岩手版～』を作れないか。岩手の有名人を使って、高校生をオーディションで選び、盛岡市大通を使ってやれば地域活性化にもなり面白いのではないか。

・震災から7年、沿岸から内陸に避難している人の8割以上がそのまま定住を希望していて、戻るのは1割以下というアンケート結果が出ていた。そういう事態になった時に何が起こっていくのか、何が課題になっていくのか、そういうところに着目し問題提起してほしい。

・国が作ってきた地方創生の一つの流れが今、どういう状態で、これからどうなるのかをテーマにしてはどうか。

・バス停とか駅名にしか残っていない地名が、どんどん消えている。地名と共に歴史はあるので地名が消えると歴史も失われる。歴史、地名の由来を追っていくことを地道に5年、10年、15年続けていくと貴重なデータが蓄積されるので、そこを是非やってほしい。

・テレビの録画機能が充実し、リアルタイムではニュースとスポーツ以外ほとんど見ない。そういう中で地方局ならではの良さを出していくのはやっぱりローカルニュース。夕方のニュースがどれだけ充実しているか、どの局を選択するかが一つポイントだと思っている。

・めんこいテレビが、県内の他局と何が違って、「らしさ」みたいなものをどこで出そうとしているのか、教えてほしい。

・めんこいテレビだけではないが、ニュースやスポーツ番組、ドキュメンタリー一等を見ていて、CMが変なタイミングで入ってきたり、とても不快なタイミングだったりすることがある。どうにかならないものか。

・ローカルニュースは、全く同じ時間帯6時台にあるが、サラリーマンは見るできない。地方のニュースを発信したいという時に、それでいいのかと思うことがある。

・地方創生の取り組みとして、いろんなところで地元定着、U・Iターン増の試みが行われているが、岩手の人にもっと岩手の良さをわかってもらう番組制作を期待する。特に知事が掲げている「岩手の幸福度」を追求する取り組みなどはどうか。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成30年1月10日（水） 産経新聞 東北版

※平成30年1月20日（土）午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ番審リポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

※次回は、平成30年2月13日（火）12時より当会場にて開催予定です。